

# 平成24年度事業報告

自 平成24年4月1日

至 平成25年3月31日

## I 会の運営に関する活動

総会	1回
理事会	3回
常任理事会	6回

## II 一般事業

### 1 一般業務

#### (1) 船舶航行安全に関する調査研究

関門港における船舶の地震津波対策についての調査研究

近い将来発生が予想される「東南海、南海地震」による地震津波が関門港へ来襲する状況を、内閣府中央防災会議の検討における南海トラフ巨大地震モデルを対象として津波シミュレーションにより把握し、関門港に存在する船舶への影響を評価した上で船舶の津波対策に必要となる指針を策定し、津波減災に寄与することを目的とし、2ヶ年で実施する計画の1年目として、船舶の地震津波対策への課題等（①関門港における津波シミュレーション結果の総括、②関門港における船舶の地震津波対策に関する検討課題）を取りまとめた。

（委員会2回、作業部会1回）

#### (2) 海難防止に関する運動の推進、周知啓蒙及び教育指導

- ① 「西日本海難防止強調運動推進連絡会議」及び同運動推進に伴う海難防止啓蒙活動  
全国海難防止強調運動における運動方針を受け、西日本の推進連絡会議を開催するとともに、部会を開催し海難防止関係機関の協力を得て海難防止啓蒙活動の推進を図った。

また、九州運輸局が行う平成24年度船員労働安全衛生活動に併せて実施する海難防止講習会等の海難防止啓蒙資料として、平成24年度「漁船海難」「衝突海難」をテーマとしたポスター等印刷物・グッズを海難防止関係機関と共同で作成し、本部及び支部において海難防止活動を支援した。

② 関門海峡の理解と安全な航行のための周知宣伝

平成23年4月に開館した海事広報展示館（関門海峡らいぶ館）の入館者が多いことから、新たに海事広報ディスプレイを整備し、関門海峡を中心とした映像等により安全な航行のための周知宣伝を実施した。

③ 西海防セミナーの開催

第10回西海防セミナー 平成24年11月6日

「災害を引き起こす豪雨の正体とは何か？」

（わかりやすい科学知識で豪雨災害に備える）

講師 九州大学大学院工学研究院環境社会部門 助教 西山浩司

第11回西海防セミナー 平成25年2月19日

「海上交通の安全」

講師 海上保安大学校 名誉教授 長澤 明

④ 「会報」の発行

「会報」第157号～第160号を作成し会員及び関係先に配布した。

## 2 「警戒船指定講習会」等の実施

(1) 警戒船指定講習会を 5回 開催した。

開催日	開催場所	講習内容	受講者数
5月17日(木)	小倉	業務	117名
7月19日(木)	宮崎	業務	19名
9月20日(木)	長崎	業務	103名
11月15日(木)	鹿児島	業務	22名
2月21日(木)	福岡	管理 業務	29名 118名
合計		管理 業務	29名 379名

(2) 安全講習会（団体向け）を 9回 開催した。

### Ⅲ 受託事業

#### 1 航行安全支援業務

① 関門航路整備船舶安全管理業務

委託者：九州地方整備局

期 間：平成24年4月6日から平成25年3月27日まで

・関門六連島西側地区及び早鞆瀬戸地区における整備工事に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

② 北九州港（新門司地区）整備船舶安全管理業務

委託者：九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所

期 間：平成24年4月6日から平成25年3月29日まで

・新門司地区の海上工事に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

③ 博多港整備船舶安全管理業務

委託者：九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所

期 間：平成24年4月2日から平成24年10月31日まで

・博多港中央航路整備工事に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

④ ひびき LNG 船基地建設（栈橋）工事船舶安全管理業務

委託者：ひびきエル・エヌ・ジー株式会社

期 間：平成24年2月10日から平成25年7月31日まで

・ひびき LNG 船基地建設に係る前面海域浚渫工事に伴い、事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

⑤ 鹿児島港整備船舶航行安全管理業務

委託者：九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所

期 間：平成24年4月6日から平成24年11月9日まで

・鹿児島港新港区耐震岸壁整備に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に

関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

⑥ 鹿児島港整備船舶航行安全管理業務（第2次）

委託者：九州地方整備局 鹿児島港湾・空港整備事務所

期間：平成24年10月1日から平成25年3月29日まで

・鹿児島港新港区耐震岸壁整備に伴い、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに伝達し、通航船舶及び工事の安全を図った。

⑦ 改修（統合）奥洞海航路船舶航行安全管理業務委託（24）

委託者：北九州市

期間：平成24年12月19日から平成25年4月15日まで

・奥洞海航路浚渫事業の異常点探査業務の実施にあたり、付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、探査業務に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び潜水探査関係者等に速やかに伝達し、航行船舶及び潜水探査関係者の安全を図った。

## 2 調査研究業務

① 平成24年度 LNG 船入港航跡等解析業務

委託者：北九州エル・エヌ・ジー株式会社

期間：平成24年4月1日から平成25年3月30日まで

・北九州 LNG 基地への大型 LNG 船の入港基準に基づく入港実績データを調査解析した。

② 平成24年度油津港大型客船船舶航行安全対策検討業務

委託者：宮崎県

期間：平成24年4月9日から平成24年6月30日まで

・平成23年度に実施した油津港への7万GT級大型客船受入れ計画に伴う航行安全対策検討業務の継続であり、前年度の調査結果を踏まえて最終的な航行安全対策について検討した。

（委員会1回）

③ 長崎港自主地域自立活性化効果促進工事（航行安全検討業務）

委託者：長崎県長崎港湾漁港事務所

期間：平成24年5月7日から平成24年10月31日まで

・長崎港松ヶ枝地区において、既設10万G/T級客船バースを15万G/T級客船バースに改良、10万G/T級客船バース及び3万G/T級長距離フェリーバースを新たに整備する港湾計画改訂に伴い、それぞれのバースに関連する回頭水域、航路に

おける操船の安全性について調査・検討するとともに、整備後の課題として、同港への大型客船等の入港隻数の増加が見込まれるため、航路及び対象岸壁前面水域等の利用の競合に対する調整の必要性について確認した。

(委員会 2回)

④ 平良港船舶航行安全検討業務

委託者：沖縄総合事務局平良港湾事務所

期 間：平成24年7月12日から平成25年3月25日まで

・平良港漲水地区のふ頭再編工事に伴う同地区利用船舶および工事関係船舶の航行安全対策について検討したものであるが、狭隘な港内での全面的な工事であり、大半の利用者が工事に伴って岸壁をシフトする必要があることから、関係者に対するヒアリングを実施したうえでシフトした場合の安全性を含めて検討した。

(検討会 2回)

⑤ 川内港港湾計画調査(船舶航行安全対策)委託

委託者：鹿児島県北薩地域振興局

期 間：平成24年7月13日～平成24年11月19日まで

・川内港港町地区に整備が計画されている定期旅客船の係留施設に係る船舶航行の安全性について、事前に実施された計画海域及びその周辺海域における通航船舶の実態調査等をもとに、同海域における航行環境等を把握し、就航が予定されている旅客船の入出港経路と回頭水域について調査するとともに、計画施設への着離棧操船等の安全性について検討した。

(委員会 2回)

⑥ 改修(統合)奥洞海航路船舶航行安全対策検討業務委託(24)

委託者：北九州市港湾空港局

期 間：平成24年8月6日から平成24年11月30日まで

・奥洞海航路整備工事中における航行船舶および工事作業従事船舶の航行安全対策について、狭隘な海域である奥洞海地区の港湾活動を維持しながら工事を実施することを前提に、同航路利用船舶と整備工事中の可航水域との関係を詳細に調査し、工事作業船及び航行船舶の安全対策と同海域利用関係者等への適切な情報提供体制等について検討した。

(委員会 2回、作業部会 1回)

⑦ 苓北発電所港船型大型化に伴う航行安全対策検討業務

委託者：株式会社九州電力

期 間：平成24年8月7日から平成25年5月31日まで

(変更)平成24年8月7日から平成25年12月27日まで

・熊本県苓北発電所港における受入船舶の大型化に伴い、平成24年度は同船の入出港・着離棧操船の検討に必要な同港付近の潮流調査及び係留の安全性等の基礎調査を実施した。平成25年度は委員会を開催して、前年度の調査結果

をふまえて、操船上の安全性を確認するためビジュアル操船シミュレータ実験を行ったうえで航行安全対策を検討することとしている。

(予定：委員会3回、作業部会1回、ビジュアル操船シミュレータ実験1回)

⑧ 関門航路整備（同時施工）一般通航船舶影響調査

委託者：九州地方整備局関門航路事務所

期 間：平成24年8月20日から平成25年1月31日まで

・関門航路六連島西側地区及び田野浦地区における同時施工による整備が通航船舶に及ぼす影響等について、同時施工時に通航した船舶に対するアンケート調査及びヒアリングを行ったうえ、学識経験者、海事関係者、関係官公庁からなる調査部会を開催して調査した。

(調査部会2回)

⑨ 平成24年度港管測単湾委第2-2号船舶航行安全対策調査委託

委託者：大分県

期 間：平成24年8月31日から平成25年3月29日まで

・別府港石垣地区の係留施設を改良整備し、12万GT級および国内寄港では最大級の14万GT級大型客船を受入れる計画に伴い、両船の入出港および係留の安全性について調査のうえ安全対策を検討した。特に入出港の安全性については、両船ともビジュアル操船シミュレータ実験を行い、船体に作用する風圧力等の外力影響を詳細に調査して安全対策を検討した。

(委員会3回、作業部会1回、ビジュアル操船シミュレータ実験1回)

⑩ 宇部港本港地区航路等工事に伴う船舶航行安全対策検討業務

委託者：中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所

期 間：平成24年9月24日から平成25年3月15日まで

・宇部港本港地区航路等の整備に伴う航行安全対策を検討したものであるが、特に同航路が法定航路でないことから、通航実態を詳細に調査のうえ工事作業船及び航行船舶の安全対策と同海域利用関係者等への適切な情報提供体制等について検討した。

(委員会2回、作業部会1回)

⑪ 竹富南航路に関する航行安全対策検討業務

委託者：沖縄総合事務局石垣港湾事務所

期 間：平成24年10月11日から平成25年 3月29日まで

・石垣島と離島を結ぶ開発保全航路である竹富南航路における航路延伸・整備に伴う船舶航行安全対策及び同航路周辺海域における海域利用間の相互協カールの調査検討を行ったものであるが、航路整備に伴う検討については学識経験者及び同海域利用者からなる委員会を開催して検討し、海域利用に関する相互協カールの検討については、関係者に対するヒアリング及び旅客船と漁船の相互乗船体験を行ったうえで連絡調整会議を開催して実施した。

(委員会 1 回、連絡調整会議 2 回)

⑫ 博多港整備に係る土砂投入場所の航行安全対策検討調査

委託者：九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所

期 間：平成 24 年 1 月 12 日から平成 25 年 3 月 22 日まで

・平成 23 年度に検討して実施されている博多港の浚渫土砂投入（百道浜沖及び愛宕浜沖）について、投入場所の汚濁防止膜の展張方法が変更されることに伴い、前回同様の検討部会を設置し、変更後の航行安全対策について検討した。

(検討部会 2 回)

⑬ 那覇空港滑走路増設事業に係る空港周辺航行船舶基礎調査業務

委託者：沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所

期 間：平成 24 年 1 月 26 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

・那覇空港滑走路増設事業に係る空港周辺航行船舶基礎調査を行うものであり、那覇港及び糸満漁港とその周辺海域における通航実態調査を行うとともに、計画予定海域付近の航行環境の調査と問題の抽出を行った。